

ふらっと

自分の考えは、世の中の多数派(常識)。
(あの人がおかしい)

そもそも、女性/男性という
のはこういうもの。

よくわからないけど、周り(多数派)に
合わせた方が無難だ。

あの人は信頼がおけない。Aさんや
Bさんも言っていたし間違いない。

あの人が失敗したのは、あの人自身に問題
があるから。(態度が悪いんだよ、態度が!)

特集

バイアスと人権

あなたが家庭や地域、職場、あるいはネット空間で、ついつい言いがち、考えがちなこと。それはある意味、あなたにとっての「当たり前」。その「当たり前」が物事を正しく理解することを妨げ、また誰かを追い詰めているとしたら？

人の意識や態度、その人にとっての「当たり前」に大きな影響を及ぼすもの。その一つが、今回紹介する「バイアス」という、私たち一人ひとりに備わる心の仕組みです。

とり助



ふらっちょー

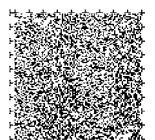
鳥取県人権文化センター
人権啓発キャラクター

鳥取県人権文化センター HP



Uni-Voice

文字情報を音声で読み上げるための「音声コード」です。スマートフォンをお持ちの方は音声コードリーダーアプリ「Uni-Voice」(iOS / Android 版)、又は「Uni-Voice Blind」(iOS 版のみ)をインストールしてご利用ください。



特集 バイアスと人権

バイアスとは？

ゆが かたよ
歪みや偏り（思い込み）をもたらすもの

私たちは日頃、「あの人はこんな人に違いない」「普通はこうすべきだ」など、合理的な理由もなく人や物事に対して思い込み、決めつけることがあります。

そうした、人の思考や判断に歪みや偏り（思い込み）をもたらす心の仕組みを総称して「**バイアス (bias)**」と呼びます。本人は無意識であることから、「**アンコンシャス・バイアス (unconscious bias : 無意識の偏見・思い込み)**」とも言われます。

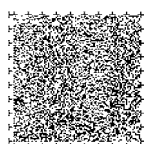
「ステレオタイプ」に基づく思い込みもバイアスの一つです。「ステレオタイプバイアス」とも呼ばれ、その人の属性（性別や人種、職種、年齢等）から、その人の特性や能力を判断してしまうことです。このうち、性別に関わる思い込みを「ジェンダーバイアス」と言い、性別役割分担意識を助長するバイアスとして注目されています。下の調査結果からも、ジェンダーバイアスの影響がうかがえます。

参考

家庭や職場で、性別に基づく役割や思い込みを決めつけられた経験
直接言われたり聞いたりしたことがある内容（上位5つ）

	男性		女性	
1位	男性は結婚して家庭を持って一人前だ	14.2%	女性は感情的になりやすい	19.9%
2位	男性は仕事をして家計を支えるべきだ	13.6%	女性には女性らしい感性があるものだ	17.2%
3位	デートや食事のお金は男性が負担すべきだ	13.1%	家事・育児は女性がするべきだ	16.9%
4位	男性は人前で泣くべきではない	12.5%	男性は仕事をして家計を支えるべきだ	16.3%
5位	女性には女性らしい感性があるものだ	11.5%	受付、接客・応対（お茶出しなど）は女性の仕事だ	15.7%

ちなみに、「直接言ったり、言動や態度から感じさせた」のは、男性回答者は「父親」「男性の知人・友人」が多く、女性回答者は「男性の職場の上司」「配偶者・パートナー」が多い。



内閣府男女共同参画局「令和3年度 性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する調査研究 調査結果」（2021年）より
全国男女20～60代、回収数：10,330人、調査期間：令和3（2021）年8月13日～18日

様々なパターンの バイアス

ここでは人間関係や様々な活動、組織の運営に悪影響を与える可能性のあるバイアスを、事例をもとに4つ紹介します。あなたの思考や判断にこんな歪みや偏りはありますか？

総会にて

ベテランAさん 「発言もなく、短時間で終わる総会が良いに決まっているのに、あの人はいつも発言する。常識がないね。」

新人Bさん 「はあ。」(初めて参加したけど、そういうものなんだ…)

偽(ぎ)の合意効果

自分の考えや行動が常に多数派で常識的で正常だと思いつつ込むこと。

このバイアスの影響を受けると、他者に自分の考えを「常識」として押しつけ、異なる考えを「間違い」とみなしやすくなる。相手も、別の人や集団とそのことについて話す機会がないと、その考えを信じやすくなる。

高齢者は…

高齢者にオンライン会議は難しい。AさんもBさんもそう言っている。やっぱり対面が一番。…「それでもないよ」の声は無視される。

確証バイアス

自分の考えに合う、都合の良い情報ばかりを集め、そうでない情報を探そうとしなくなる。結果、ますます「自分は正しい」と確信してしまう。

自分が抱く「ステレオタイプバイアス」も強化。

SNSで陰口

B 「Aさん、ウザ！」

C 「空気読めよって感じ」

D 「明日、挨拶してきても無視しようよ」

E 「OK♪Fさんは？」

F 「了解」(Aさんのことよく知らないけど、皆に合わせた方が無難かな)

集団同調性バイアス

周囲と同じ言動をとるのが安全だと思いつつ込むこと。

その話題に関する知識や情報が不十分なきや少数派になることを恐れる心理が背景にある。

上司が部下を叱責

上司 「何で締め切りに間に合わないんだ？ どうせ怠けていたんだろ！」

部下 (今まで数人でしていた仕事を、新人の自分だけでやるのは限界だよ…)

根本的な帰属の誤り

他者がとった行動の原因を、その人の性格や意思、態度といった「内的要因」に求め、周囲の状況や環境といった「外的要因」を軽視すること。

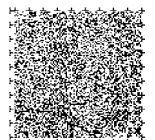
多くの問題には、内的要因と外的要因の両方があるが、人は、状況をよく知らなくても直感で指摘しやすい内的要因に注目しがち。

無自覚にバイアスに基づく言動をし続けると、様々な問題を引き起こします

例えば…

- 特定の人に対する偏見意識を強める。
- 自他の個性や可能性の発揮を妨げる。
- 自分と異なる考えに対する共感力や寛容性がなくなる。
- 言葉のウラを読んだり、互いにけん制したりと、人間関係がストレスになる。
- 問題の発見が遅れ、根本的な解決を困難にさせる。

集団や組織のあり方に大きな影響を与えるリーダーや管理職、ベテランの人ほど注意！



バイアスはなくせる？

バイアスは、図のような「人間が抱く欲求」と深く結びついています。



バイアスは人間に備わる本能的な機能のため、完全になくすことはできません。ただ、バイアスに基づく言動が問題を引き起こさないよう、コントロールすることはできます。

バイアスをコントロールするポイント

- 様々なバイアスについて学ぶ。
- 自分の言動がバイアスに影響されていないか、自己チェックする。
- 人と指摘し合う。
「それ、バイアスかも？」 → 指摘され、バイアスだと気づいたら素直に認めて正す。
- 自分が所属する集団や組織にバイアスの影響がないか探す。

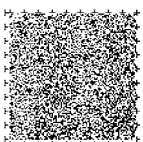
探しとみる

- 明文化されていない、理由が明確でない慣習やしきたり
- メンバーの性別や年齢等の偏り
- 昔から決まっている役割分担
- 範囲が限定された情報共有
- 同じ人に聞いている「外部の意見」



バイアスの視点から「当たり前」を見直してみよう

- 今回紹介したバイアスは、家庭や地域、職場、又はデジタルメディアを活用する際に、自分の思考や判断に「歪みや偏り」がないか、それにより誰かの人権を軽んじるような言動をとっていないかを振り返るキーワードになります。
- バイアスは、その人自身が培ってきた経験や知識、価値観をベースに形成されるものです。そのため、私たちが日々接する情報や周囲の人、所属する組織、社会のあり様も、バイアスの形成に無関係とは言えません。
 - 個人のバイアスに注目するだけでなく、その人を取り巻く周囲や集団・組織・社会の中に根付く「当たり前」となっている考え方や仕組みの中に、バイアスを発生・助長させるような要因がないか、気づいていくことが大切です。バイアスの視点から、個人や社会の中にある「当たり前」をアップデートしていきませんか。



バイアスについて学ぼう

今日、(アンコンシャス) バイアスに関連した書籍や資料、研修等が各所で提供されています。鳥取県人権文化センターも、次のような学びの機会を用意しています。ご関心のある方はセンターまでお問い合わせください。(連絡先は8pをご覧ください)

個人で、または身近な人と学びたい

人権学習資料

『バイアス、ミナオス?』

(B5判12ページ)

バイアスについて、マンガを交えながら具体的に解説した冊子です。無料で配布しています。



センターホームページ掲載『調査研究エッセイ』

- ① 「調査研究：偏見—バイアスに気づき、向き合うための考察」 (2021.3.18掲載)
- ② 「人権啓発関係者とバイアス」 (2022.2.7掲載)



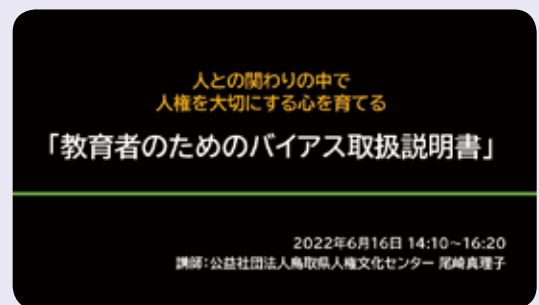
QRコードから調査研究エッセイのコーナーにアクセスできます。

研修等で学びたい

バイアスをテーマに、各種人権研修に講師を派遣します。※日程は要相談

講演

バイアスの基本的理解や人権尊重の視点から問題解決のポイント等をお話します。



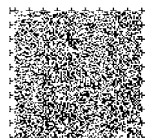
ふらっとカフェ (対話型の人権学習)

10人以下の少人数で一つのテーマについてじっくり対話し、学びを深める「ふらっとカフェ」で、バイアスに関わるテーマを設定して実施できます。

当センターが自主開催する「ふらっとカフェ」でも、同様のテーマを設定する場合があります。



例) 「周りに合わせるのが良い時、悪い時」
 (「集団同調性バイアス」について考えるテーマ)



身元調査お断り！～しない・させない・許さない！～

差別意識や偏見に基づき、結婚や就職に際し、本人の知らないところで、その人の出生や経歴などを調べる「身元調査」は、重大な人権侵害です。

差別のない真に人権が尊重される社会づくりを図るため、鳥取県では、身元調査お断り運動に取り組んでいます。

■身元調査とは

身元調査とは、結婚や就職などの際に、本籍、出生、家族構成や家族の仕事、国籍、思想、信条などの情報を自ら、または調査会社などに依頼して、本人の知らないところで、戸籍や住民票を取得したり、知人や近隣の人に聞くなどして調べることです。

このような身元調査は、重大な人権侵害であり、差別につながる決して許されない行為です。

これまでに、全国で一部の行政書士や司法書士等が職権を悪用し、第三者の戸籍謄本や住民票などを不正に取得して調査会社に売り渡すという事件が起こっており、県内においても、これらの不正事件に伴い戸籍謄本や住民票が不正に取得されていることが判明しています。

■重大な人権侵害とは

1 プライバシーの侵害になります

私たちは、人のことを知りたいという気持ちと同時に、自分のことを人に知られたくないという気持ちも持っています。

相手のことを知るために、本人の知らないところで、本人に分からないように調べることや身元調査に協力することは、プライバシーの侵害にあたります。

2 差別行為につながるものです

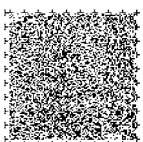
身元調査の多くは、同和地区（被差別部落）出身者や在日外国人などが不当に差別的な扱いを受けるといった人権侵害につながるものです。

本人の性格や能力とは関係なく、本人にはどうすることもできない「出生」や「家庭環境」などで結婚や就職の際などに差別することは許されないことです。

身元調査 お断り！



私たち一人ひとりが、身元調査を依頼しない、自分もしないことはもちろん、もし、調査（聞き合わせ）などを受けても、決して応じない、許さない！という毅然とした態度や行動をすることが大切です。



問合せ先

鳥取県総務部人権・同和対策課 同和対策担当

TEL 0857-26-7074 FAX 0857-26-8138

～令和4年4月より開設しています～

鳥取県LGBTQ寄り添い電話相談窓口

多様な性を認め合い、誰もが自分らしく生きることができる社会づくりを推進するため、本年4月より専用相談窓口を開設しています。

同性が気になっている

こころとからだの性に違和感
があり困っている

家族や友人がLGBTQを
理解してくれない

自分の性別がよくわからない

性自認や性的指向でお悩みの方や、そのご家族、ご友人からの相談を受け付けています。
ひとりで悩まずにお気軽にご相談ください。

電話相談窓口：**0120-65-1010**

開設日：毎月第1・3 水曜日 午後6時から午後8時
第2・4 土曜日 午後3時から午後5時



※開設日以外の相談は鳥取県人権相談窓口にて受け付けています。

こちらはLGBTQ以外の人権相談にも対応しています。

<受付時間> 月曜日から金曜日の午前8時30分から午後5時（祝日・12/29～1/3を除く）

<相談先> 県庁人権・同和対策課

（電話）0857-26-7677（ファクシミリ）0857-26-8138

中部総合事務所県民福祉局

（電話）0858-23-3270（ファクシミリ）0858-23-3425

西部総合事務所県民福祉局

（電話）0859-31-9649（ファクシミリ）0859-31-9639

<相談方法>

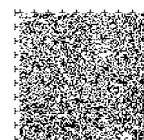
1. 電話相談：電話で相談員が対応します。
2. 面接相談：予約制です。事前に電話かファクシミリでご連絡ください。
3. ファクシミリ：相談申込の受付専用です。相談申込受付後は個別に対応します。
4. 電子メール相談：jinkensoudan@pref.tottori.lg.jp

※電子メールでの相談の場合、相談を受けてからお答えするまで多少日数を要する場合がありますので、あらかじめご了承ください。（24時間受付）

問合せ先

鳥取県総務部人権・同和対策課 人権啓発担当

TEL 0857-26-7590 FAX 0857-26-8138



ふらっと おすすめ DVD



性的マイノリティ

レインボーストーリーズ LGBTsと社会
全4巻

(上映時間：21～25分)

職場、家庭、公共機関、地域社会といった社会の様々な場面で性的マイノリティが直面する「生きにくさ」の事例をドラマで描いています。



様々な人権問題

ドラマで学ぶ人権問題の事例集 わたしと人権
全2巻

(上映時間：24～26分)

私たちの誰もが、人権問題の被害者にも加害者にも傍観者にもなる可能性があります。身近にある諸テーマ別に、ミニドラマの主人公に重ね「自分ならどうするか」を考えるきっかけを作ります。

公式アカウント
友だち募集中

- 本・コミックス・DVDの新着情報をいち早くお届けします
- 資料の貸出予約もできて簡単便利
- 展示・イベント情報も公開中

ID: @909szxqr

LINEの
QRコード

● 本・DVDの貸出冊数、期間

	本		DVD	
	個人	10冊	2週間	2本
団体	50冊	4週間		

● 駐車場について

ふれあい会館駐車場が満車の場合は、日本海新聞本社ビル駐車場をご利用ください。利用時間に応じて駐車場の無料サービス券をお渡しします。必ず駐車券をご提示ください。

【開館時間】 9時～17時
 【休館日】 祝日、年末年始、
 県民ふれあい会館の休館日
 【TEL】 0857-27-2010
 【FAX】 0857-21-1714
 【E-mail】 furatto@tottori-jinken.org

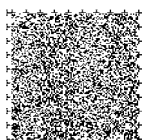


ふらっとHP

今後の情報誌作成の参考とさせていただきますため、本誌に関するご意見・ご感想をお寄せください。



とっとり人権情報誌



公益社団法人鳥取県人権文化センター

発行

〒680-0846 鳥取市扇町21 鳥取県立生涯学習センター2階
 【TEL】 0857-21-1712 【人権相談専用TEL】 0857-21-1713
 【FAX】 0857-21-1714 【E-mail】 t-jinken@tottori-jinken.org
 【HP】 <https://tottori-jinken.org>